

上場市場 : 東証プライム  
証券コード : 4205

**ZEON**

# 日本ゼオン株式会社 会社紹介

2026年4月4日

## 松浦 一慶（まつうら かずよし）

1993年 日本ゼオン株式会社入社

2017年 執行役員 ゴム事業部長

2019年 取締役 執行役員 管理本部長

（財務・経理・人事・経営企画管掌）

2022年 取締役 常務執行役員 基盤事業本部長

（エラストマー・リチウムイオン電池用バインダー事業管掌）

2026年 取締役 常務執行役員 最高財務責任者



1. 日本ゼオンって、何の会社？
2. 日本ゼオンの強みと成長戦略
3. 日本ゼオンの株価と株主還元

1. 日本ゼオンって、何の会社？

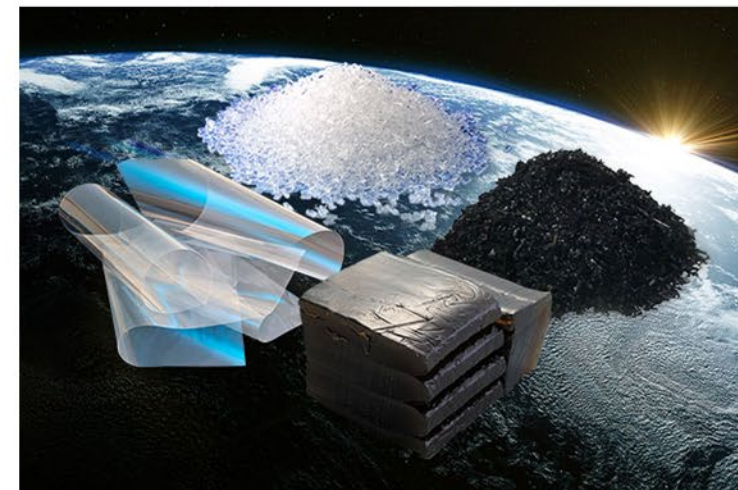
化学メーカー



独創的な  
技術



社会を支える  
高性能な製品



企業理念

## 大地の永遠と人類の繁栄に貢献する

【社名の由来】

「ゼオ」はギリシャ語で大地、「エオン」は永遠を意味し、その合成語である「ゼオン」には、「大地から原料を得て永遠に栄える」という意味が込められています。

創立

1950年

創業76周年

グループ企業

18カ国地域

53社

(2025年 3月末)

従業員数

連結

4,493名

(2025年 3月末)

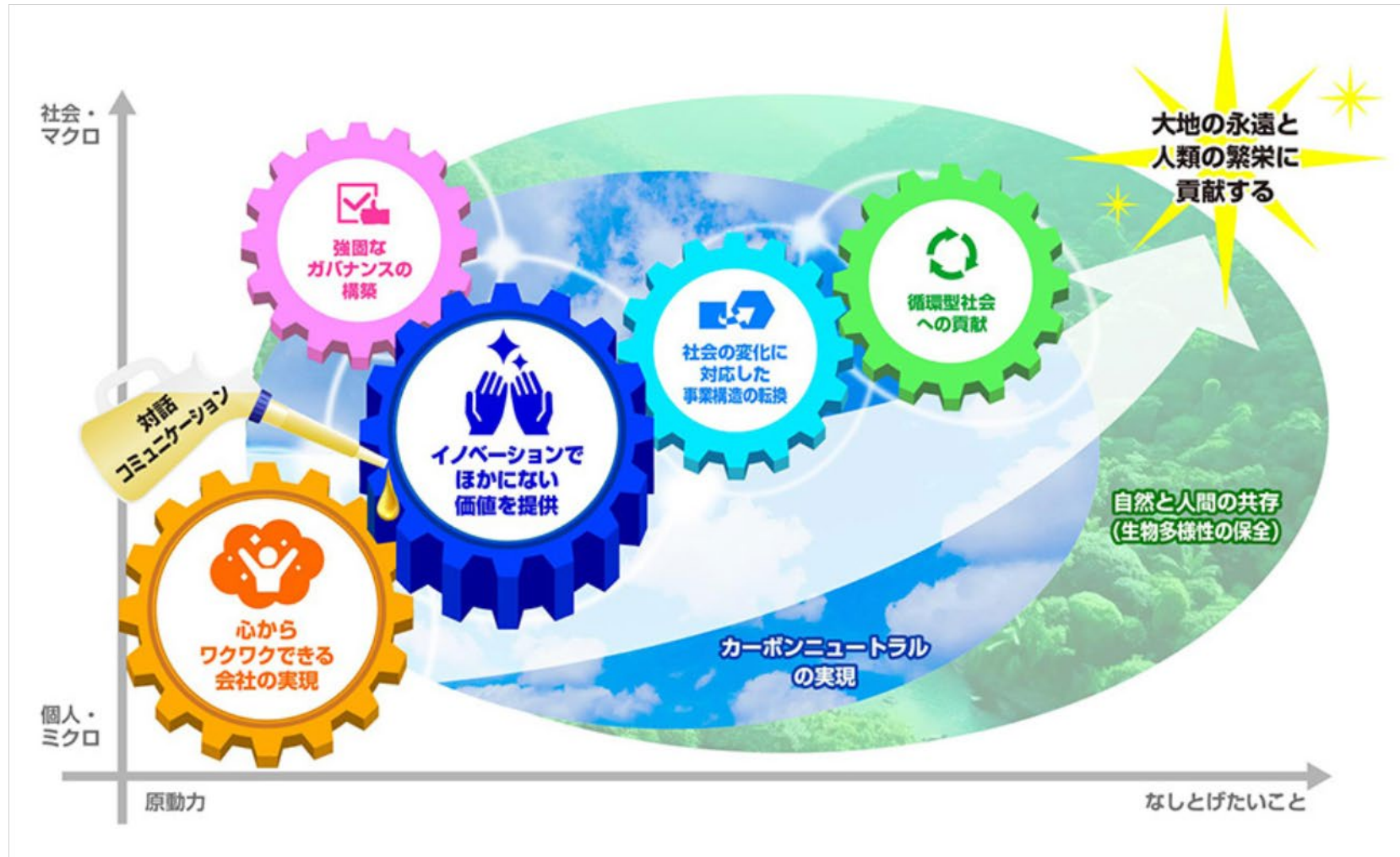
売上高

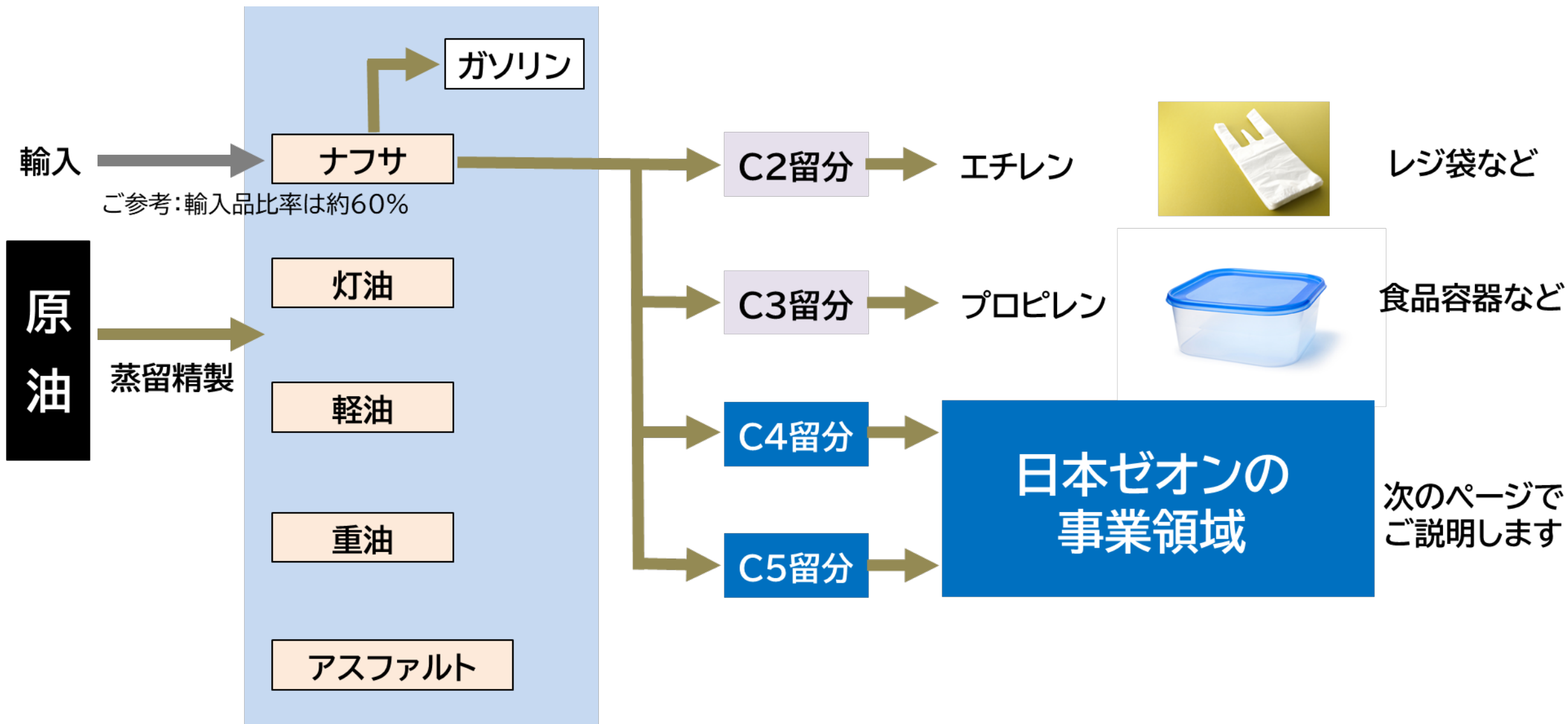
4,075億円

(2025年度予想)

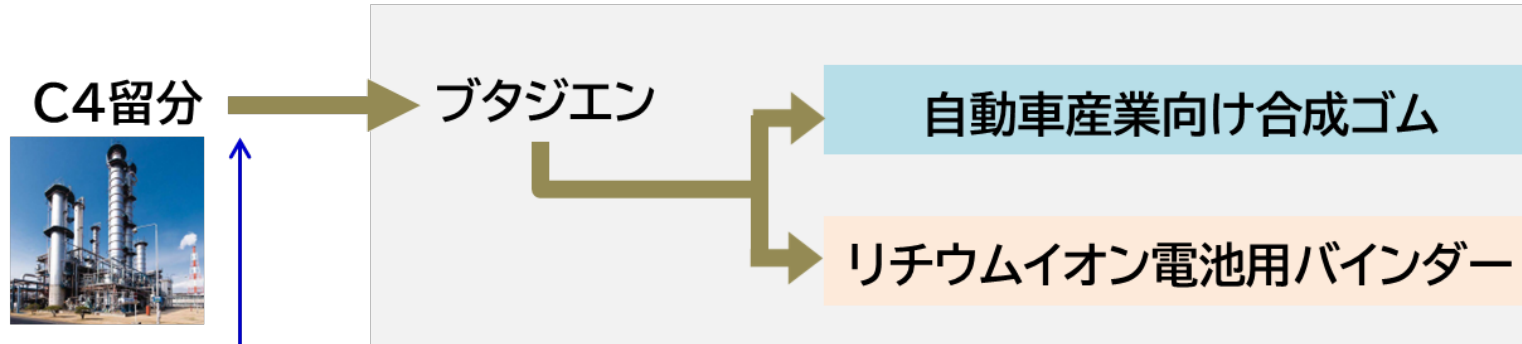
# 日本ゼオンを動かす5つの歯車 = マテリアリティ

「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献するという使命を果たし、企業理念を達成するために5つの歯車、マテリアリティを設定して取り組んでいます

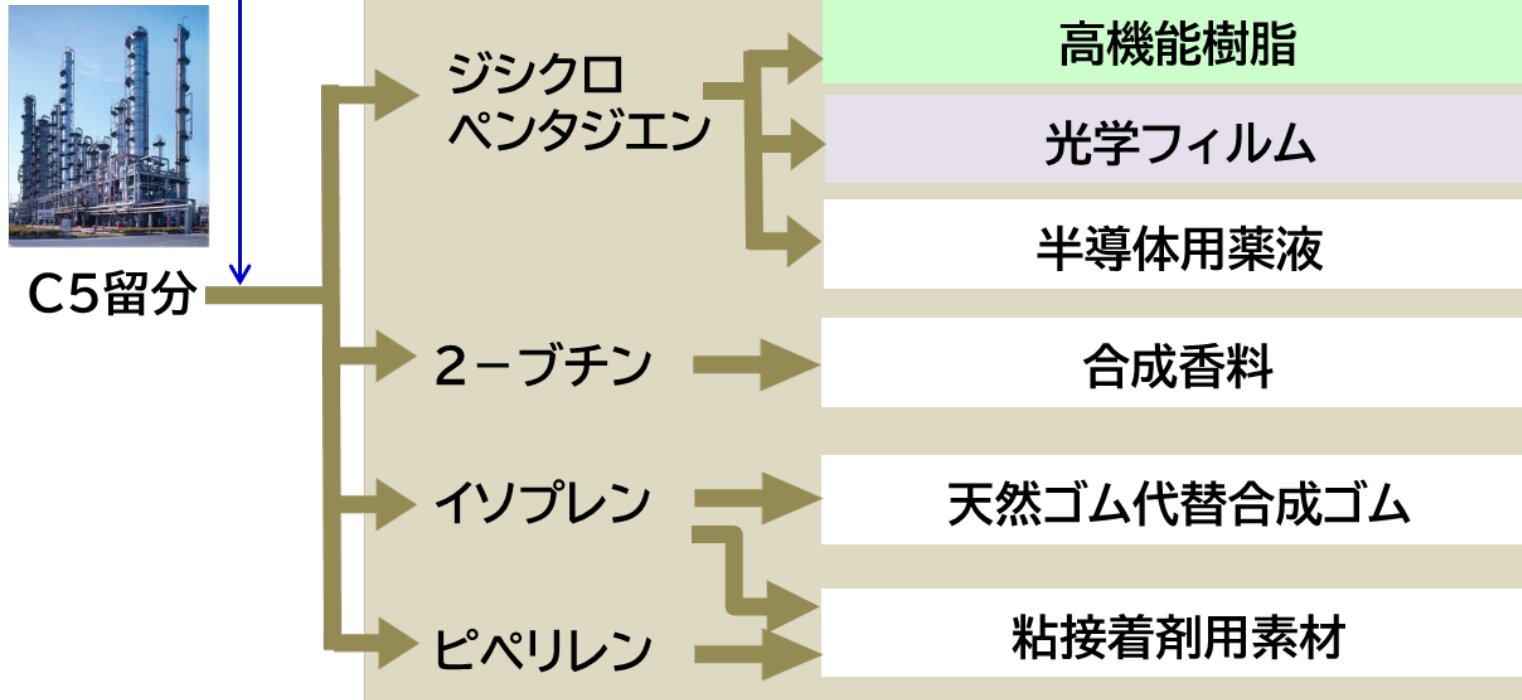




# C4、C5を主原料とするゼオンの事業展開



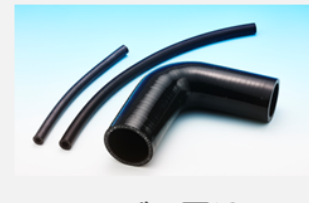
当社独自の技術で有効成分に熱分解



主な用途例



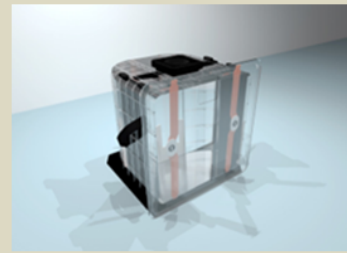
低燃費タイヤ



エンジン周りの重要保安部品



エネルギー貯蔵システム



半導体ウェハの搬送容器



大型テレビ向け液晶ディスプレイ



フレグランス



道路標示材

## C4留分を利用した主要製品

### 自動車産業向け合成ゴム



低燃費タイヤや自動車のエンジン周りの部品として使用される合成ゴム。

なかでも、水素化ニトリルゴムは当社が世界に先駆けて開発した高性能なゴムで、耐油性、耐熱性や耐摩耗性に優れています。世界トップメーカーの一つとして長年にわたり業界に君臨し、今なお、自動車に欠かせない材料として活躍しています。

### リチウムイオン電池用バインダー

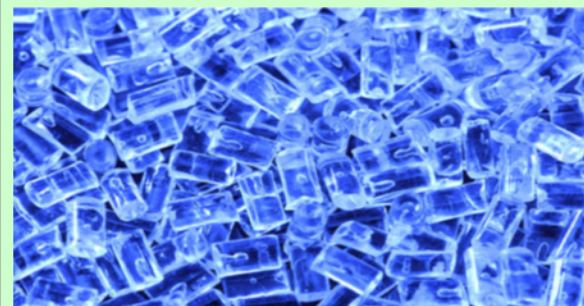


当社が培ってきた合成や分散の技術を応用したLIB用バインダー。

1995年に世界初の水系負極用バインダーを上市以降、正極向け、セパレータ向け、シール材と様々な素材でリチウムイオン電池の発展に貢献してきました。これからも、ユニークでエッジの効いた素材を提案していきます。

## C5留分を利用した主要製品

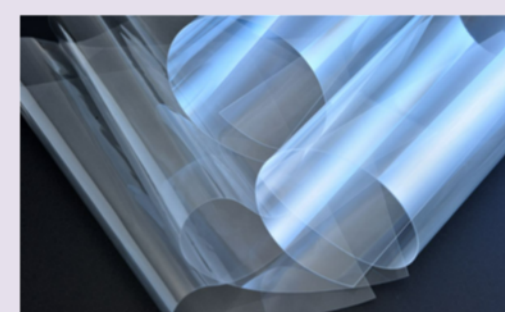
### 高機能樹脂



当社が独自に開発した高性能なプラスチック、シクロオレフィンポリマー(COP)。

スマホのカメラレンズやレーザービームプリンター内蔵レンズなどの素材として世界有数のシェアを誇ります。近年は、医療用途、半導体用途にシェアを拡大しており、当社の成長ドライバーとして位置付けています。

### 光学フィルム

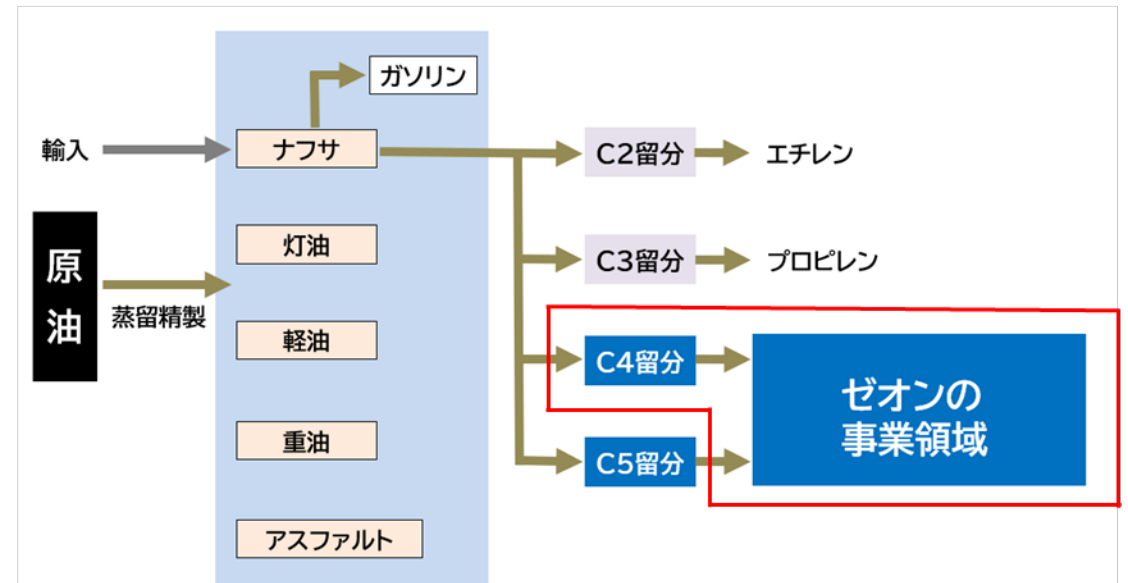


自社でCOPを延伸し加工した光学フィルム。

世界初のフィルム加工技術「熔融押出法」、独自で開発した技術「逐次二軸延伸」「斜め延伸」などにより、ディスプレイ業界において確固たる地位を確立しました。特に大画面液晶ディスプレイにおいて、世界で圧倒的なシェアを誇っています。

## 2. 日本ゼオンの強みと成長戦略

### ① C4留分を利用した主要製品



1959年に日本で初めて合成ゴムの国産化に成功、以来世界の自動車産業の発展を支えています

## 当社の合成ゴム製品



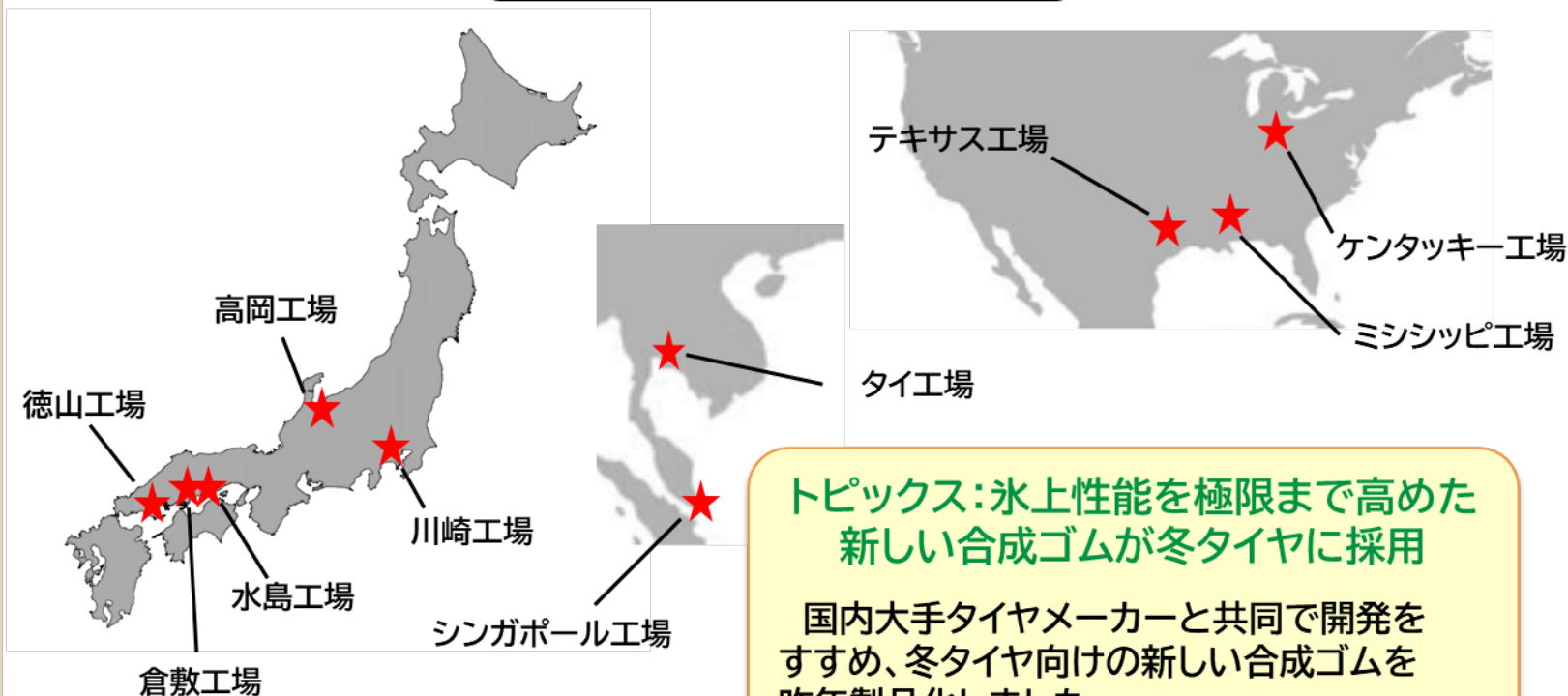
### 主にタイヤに使われる合成ゴム(汎用ゴム)

乳化重合スチレンブタジエンゴム(ESBR)  
溶液重合スチレンブタジエンゴム(SSBR)  
ブタジエンゴム(BR)  
イソプレンゴム(IR)

### 主にエンジン周りに使われる合成ゴム(特殊ゴム)

アクリロニトリルブタジエンゴム(NBR)  
水素化ニトリルゴム(HNBR)  
アクリルゴム(ACM)  
エピクロルヒドリンゴム(ECO)

## 当社の合成ゴム製造拠点



### トピックス: 氷上性能を極限まで高めた新しい合成ゴムが冬タイヤに採用

国内大手タイヤメーカーと共同で開発をすすめ、冬タイヤ向けの新しい合成ゴムを昨年製品化しました。

水との親和性をこれまでにないレベルまで高めて氷上性能を画期的に向上し、同時にスノータイヤ装着時の燃費減にも貢献する新しい素材です。

信頼と実績をもとに、エンジン車向けの多くの部品に使用されています

### フューエルタンクインレットホース

- アクリロニトリルブタジエンゴム

### フューエルタンクカバーシート

- アクリロニトリルブタジエンゴム

### タイヤ

- スチレンブタジエンゴム
- イソプレンゴム
- ブタジエンゴム
- スチレン・ブタジエン系ラテックス

### フューエルホース

- エピクロルヒドリンゴム

### ドアパッキン

- アクリロニトリルブタジエンゴム

### 防振用部材

- スチレンブタジエンゴム

### ブッシュ類

- スチレンブタジエンゴム

### フューエルフィルターホース

- アクリロニトリルブタジエンゴム

### ウインドウモール

- アクリロニトリルブタジエンゴム

### タイヤフラム

- アクリロニトリルブタジエンゴム
- 水素化ニトリルゴム

### ブレーキ部品

- アクリロニトリルブタジエンゴム
- 水素化ニトリルゴム

### ベアリングシール

- アクリロニトリルブタジエンゴム
- 水素化ニトリルゴム

### 内装用表皮材

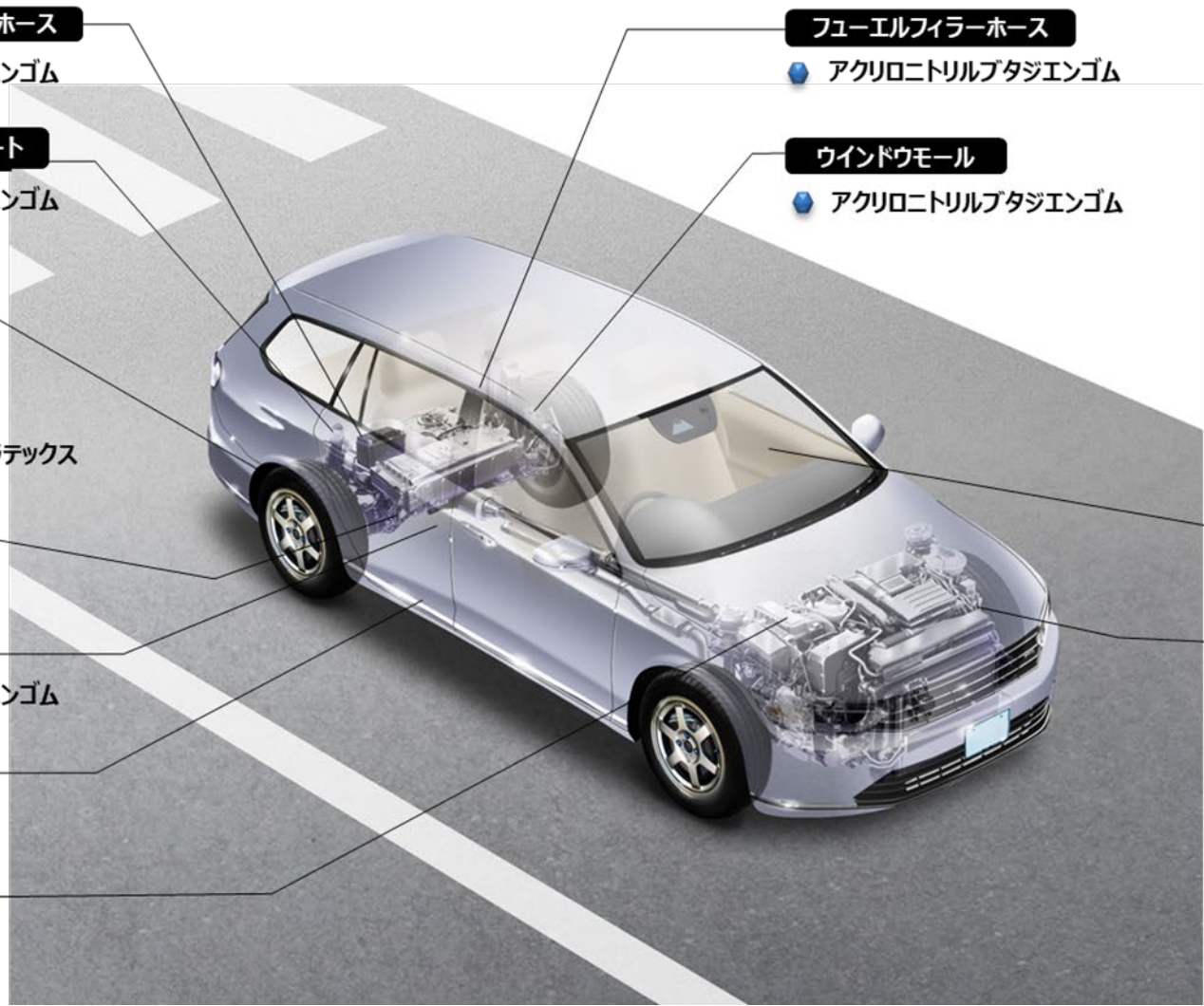
- パウダースラッシュ

### パワーステアリングホース

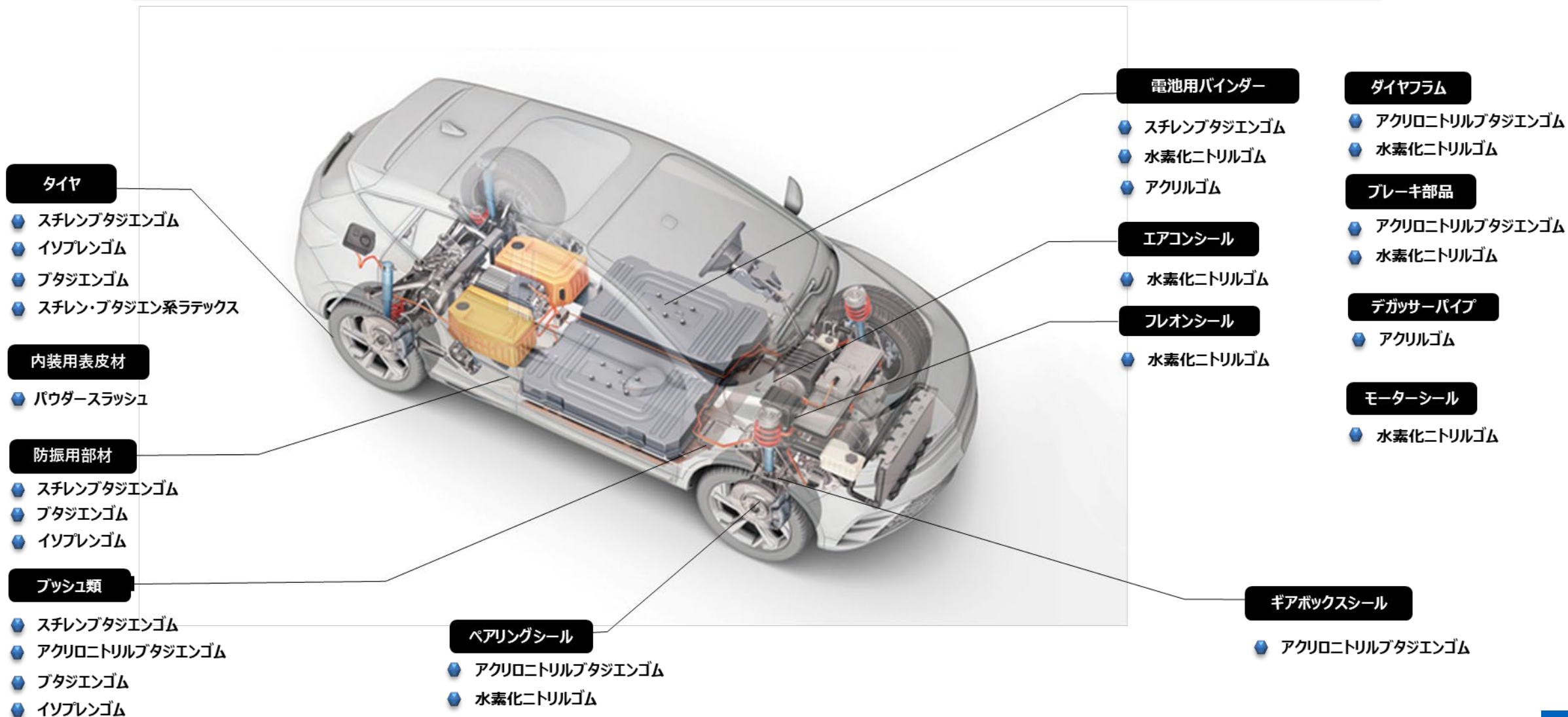
- アクリロニトリルブタジエンゴム

### オイル系ホース

- アクリロニトリルブタジエンゴム
- アクリルゴム
- 水素化ニトリルゴム

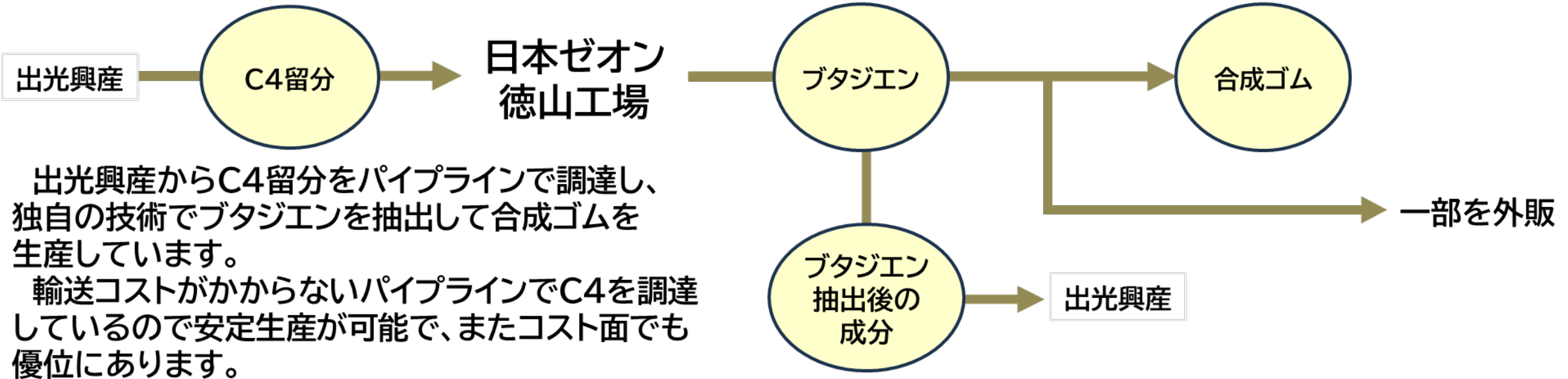


## 電気自動車(EV)でも電池用バインダーや各部品に使われています



# C4:原料調達の強み

## 強み①:パイプラインでつながるコスト競争力



## 強み②:国内で唯一、大型外航船の受け入れが可能

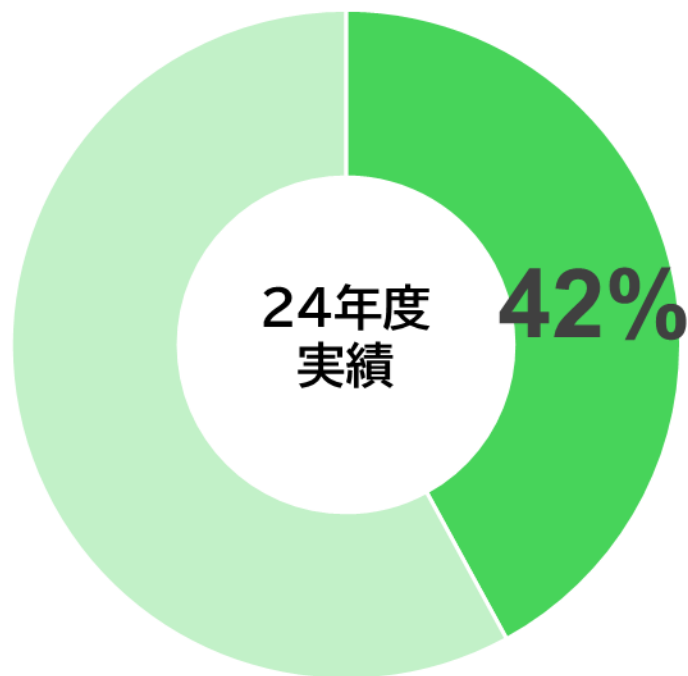
2,000トン級の大型外航船の受け入れが可能な波方タンクターミナルに、ブタジエンの受払いタンクを保有しています。  
 ブタジエンの輸入や一時的な保管用として利活用し、ブタジエンを戦略的にコントロールしています。



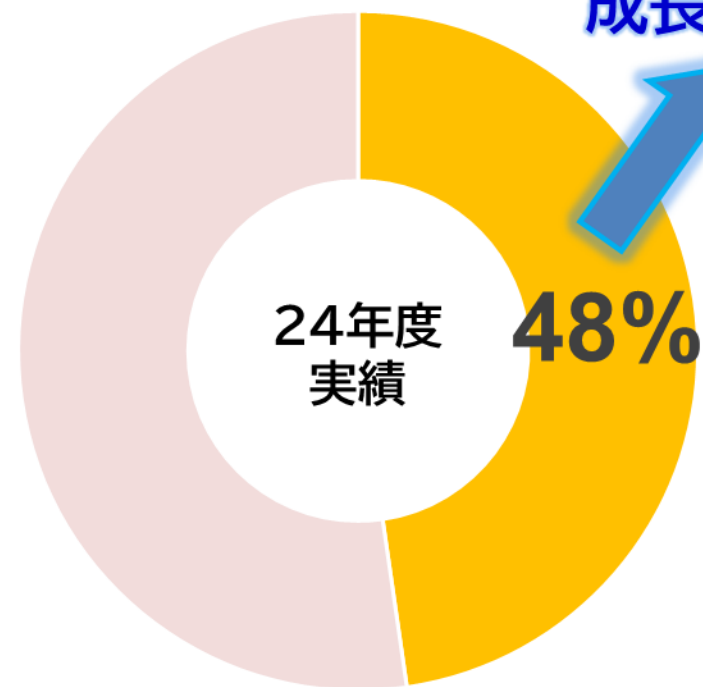
波方タンクターミナル

合成ゴム事業は当社の成長を支える、キャッシュカウと位置づけています

## 売上高 全社に占める割合



## 営業利益 全社に占める割合



成長ドライバーへ投資

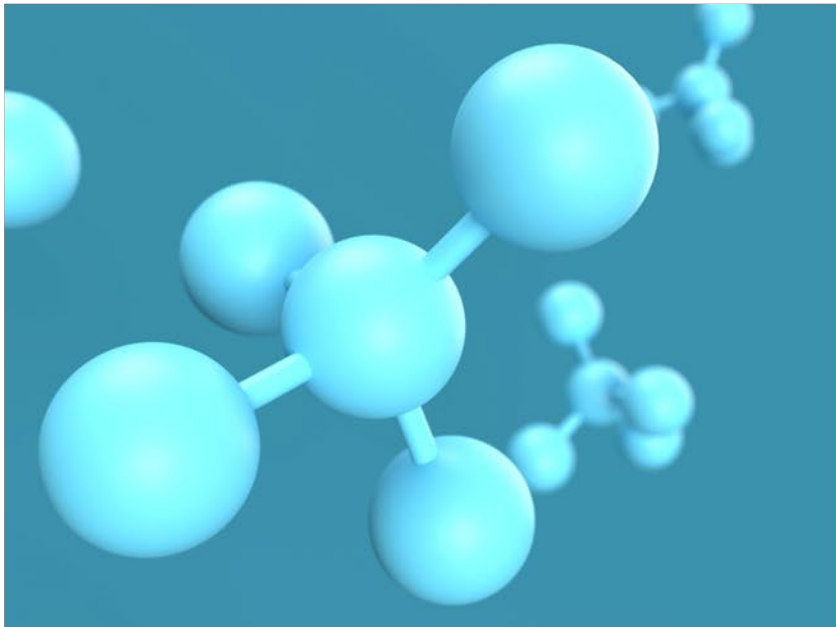
営業利益率8%

# C4:リチウムイオン電池用バインダーの強み

## 強み①:合成ゴムで培ってきた各種要素技術

電池用バインダーは、合成ゴムの用途のひとつ。

合成ゴムメーカーとして世界をリードしてきた当社ならではのポリマー設計技術や量産技術をベースに、配合技術や微粒子分散技術等の要素技術を組合せることで、他社の追随を許さない競争力を誇っています。



## 強み②:評価・解析技術

バインダーが電池の中でどう機能するかを評価・解析する技術を有しており、二次電池メーカーから高い評価をいただいています。

お客様で発生した問題を再現してソリューションを提案したり、電池トータルの性能を高めるためのアプローチが可能です。

## 成長が見込まれる用途

### 小型電気自動車



### エネルギー貯蔵システム(ESS)



## ESS市場について

### ESSとは？

発電した電力を一時的に貯蔵し、需要にあわせて電力を供給するシステムです。

脱炭素が推進されるなか、電力を効率的に貯蔵・供給するESSの需要が、世界中で増加しています。

### 地球環境の持続性にも貢献

自然エネルギーの発電所においても、ESSは出力安定のために併設されています。

当社は以前より発電所設置のESS向けに出荷しており、持続可能な社会の実現に貢献してまいりました。

### ESS市場急拡大の背景

近年、AIの普及に伴い、AIデータセンターが引き起こす電力需要の急増により、エネルギー貯蔵需要も急拡大しています。

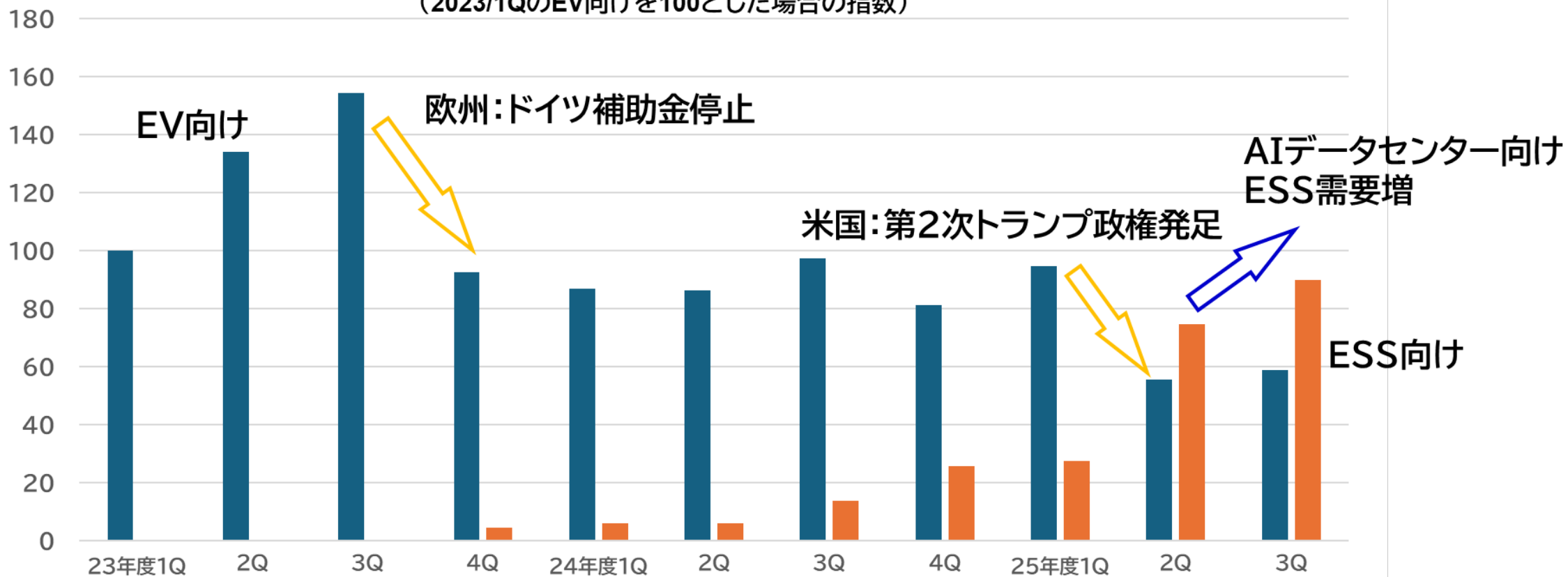
2026年の世界のエネルギー貯蔵需要は前年比40%増の見通しで、2030年まで年28-38%の高成長を続ける「超成長市場」と位置付けられています。



風力発電とESS

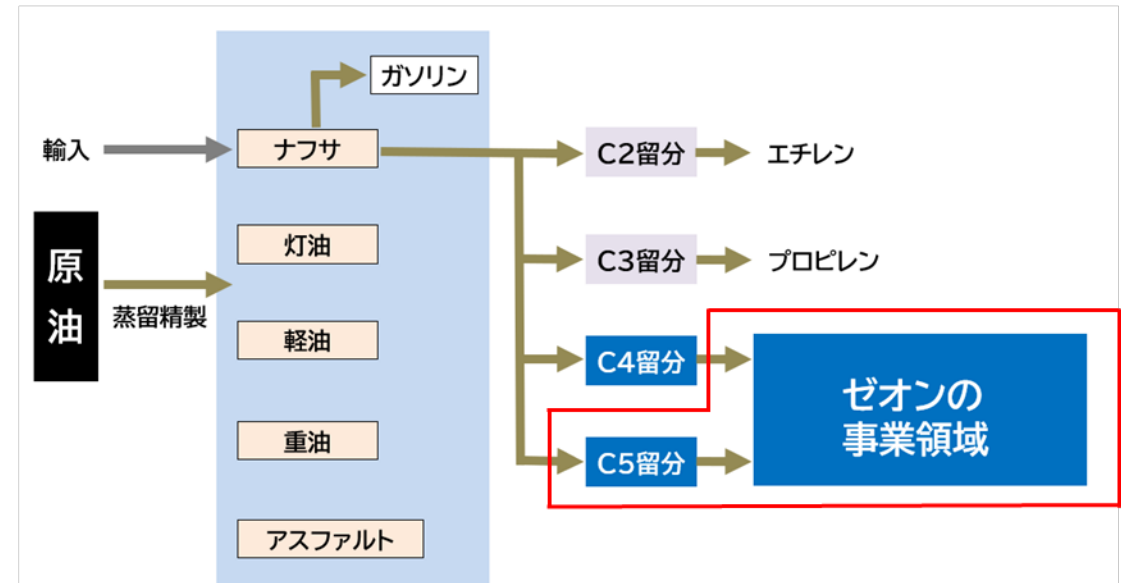
EV向け出荷は、欧州補助金停止や第2次トランプ政権の影響で落ち込むも、AIデータセンター等向けのESS市場が拡大、出荷量が逆転

EV向け vs ESS向け 出荷量推移  
(2023/1QのEV向けを100とした場合の指数)



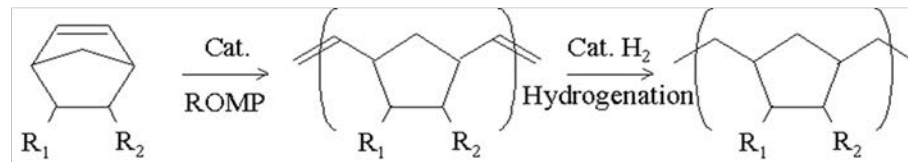
# 2. 日本ゼオンの強みと成長戦略

## ② C5留分を利用した主要製品



以降、シクロオレフィンポリマーは「COP」と記載します。

COPは当社が独自で開発した高機能樹脂です。  
ユニークな特長を有し、光学や医療、半導体などの分野に  
欠かせない素材です。



ROMP: Ring Opening Metathesis Polymerization

## COP事業のビジネスモデル



樹脂として販売

顧客

さまざまな用途に展開

レンズ

シリンジ

半導体容器

光学フィルムに  
加工して販売

顧客

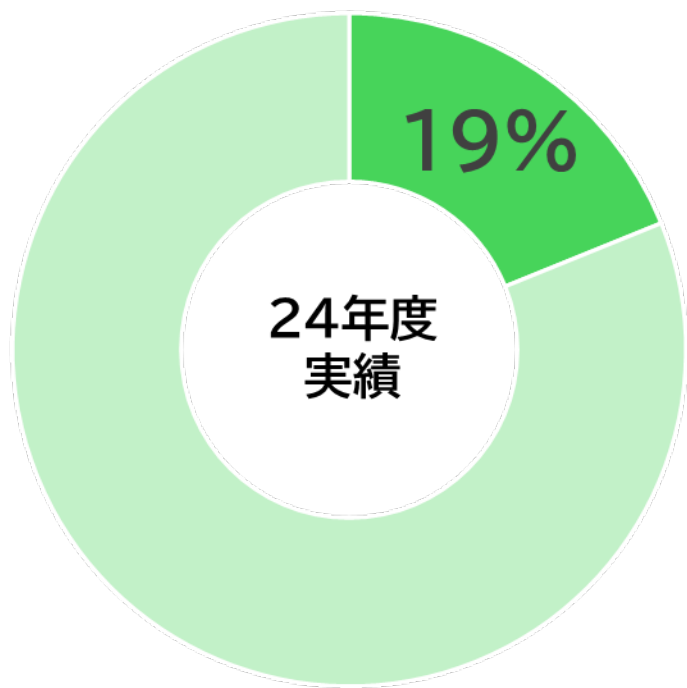
大型ディスプレイ

スマートフォン、タブレット端末

品質面で競争優位にあり、利益率が高いことが特徴です

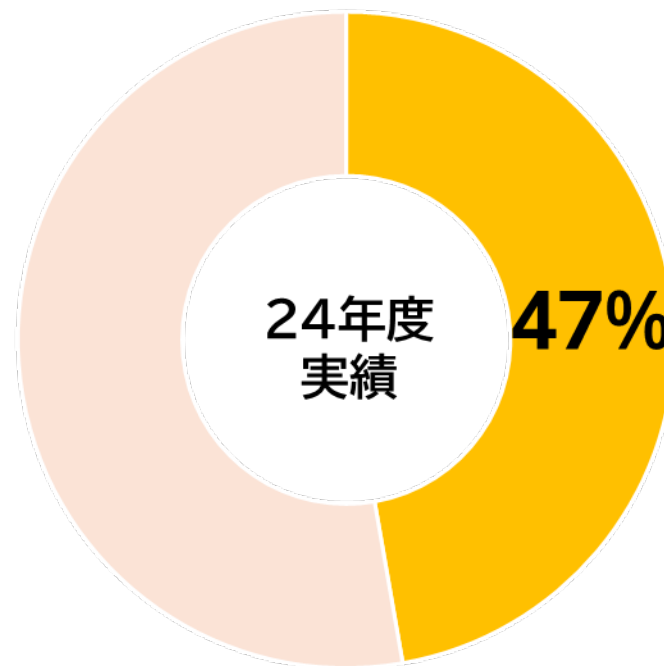
## 売上高

全社に占める割合



## 営業利益

全社に占める割合



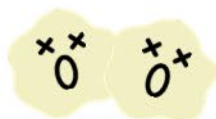
営業利益率17%

## 医療業界の現状

タンパク質を含む  
バイオ医薬品の市場が拡大



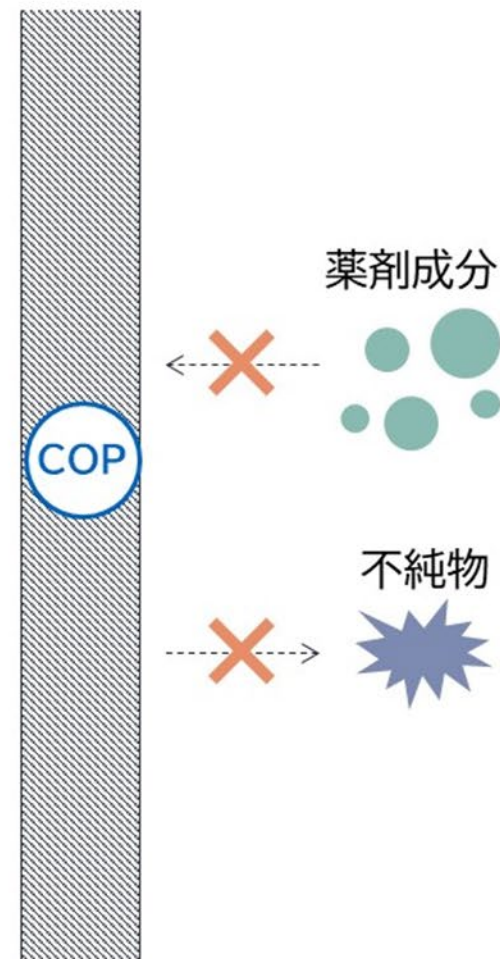
ガラスはタンパク質が  
吸着しやすいため、医薬品を  
扱う上でデメリットがある



## 医療用途におけるCOPのメリット

- ① タンパク質が吸着しにくい
- ② 不純物が極めて少ない

バイオ医薬品市場の拡大によって、  
COPの着実な成長が期待されています。



## 半導体用途とは？・・・半導体製造工程で、ウェハーを汚染や損傷から守る容器の素材

	従来素材（ポリカーボネート）	COP
特徴	アウトガス（水や有機溶剤など）を発生させる	不純物が少なく、アウトガスが殆ど発生しない
ウェハーへの影響	<p>回路の線幅が微細になるほど、欠陥が発生しやすい</p> <p>PC製ウェハー格納容器</p> <p>容器内部</p> <p>アウトガス</p> <p>ウェハー</p> <p>容器内部にアウトガスを発生</p>	<p>クリーンな環境を保持 → ウェハーへの汚染リスクを低減</p> <p>COP製ウェハー格納容器</p> <p>容器内部</p> <p>クリーンな環境</p> <p>不純物を出しにくい</p>

半導体の微細化とともに、COPの需要が拡大しています

## COP製光学フィルムの役割

正面からの画像



COPフィルム



斜めから見ると  
不鮮明



斜めから見て  
も鮮明

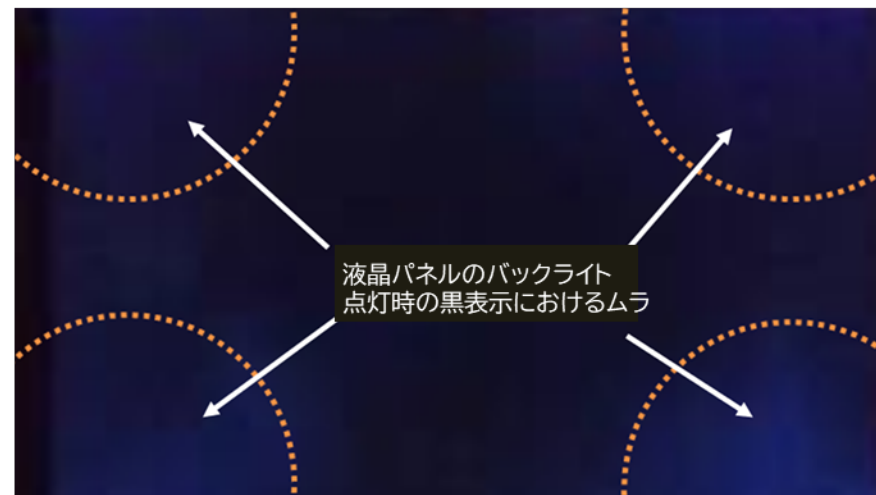
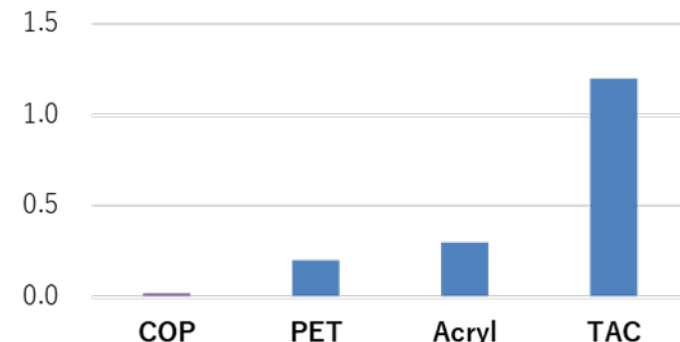
### ディスプレイ用途におけるCOP製光学フィルムのメリット

#### = 吸水性が極めて低い

従来素材(TAC)は、空気中の水分を吸水するため、寸法安定性が損なわれ、「ムラ」が発生しますが、COPは吸水性が低いため「ムラ」が発生しません

### 吸水率比較

吸水率(%)



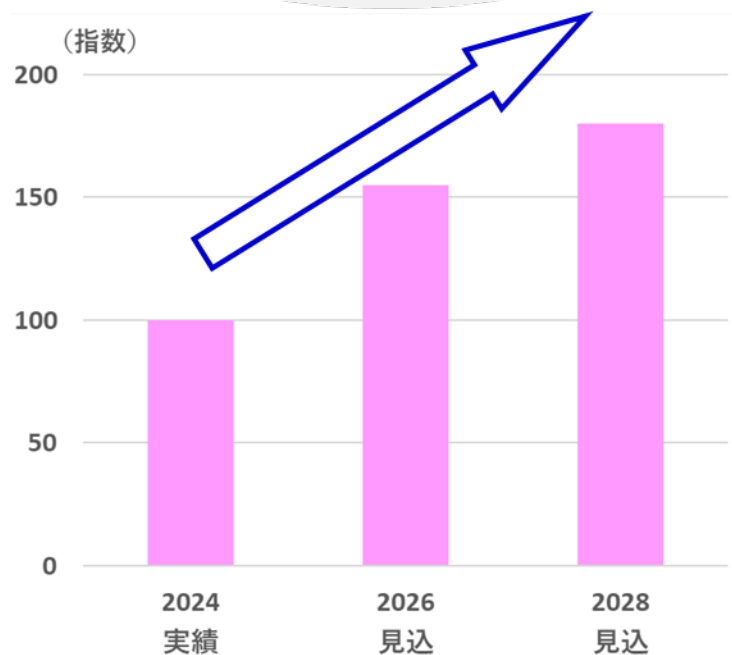
出典: 当社撮影

画面サイズは大型化する傾向にあり、また大型化すると寸法安定性の影響が出るためCOP製の光学フィルム需要が拡大しています

医療用途、半導体用途、大型ディスプレイ用途を成長市場として位置づけ、高水準な成長を見込んでいます

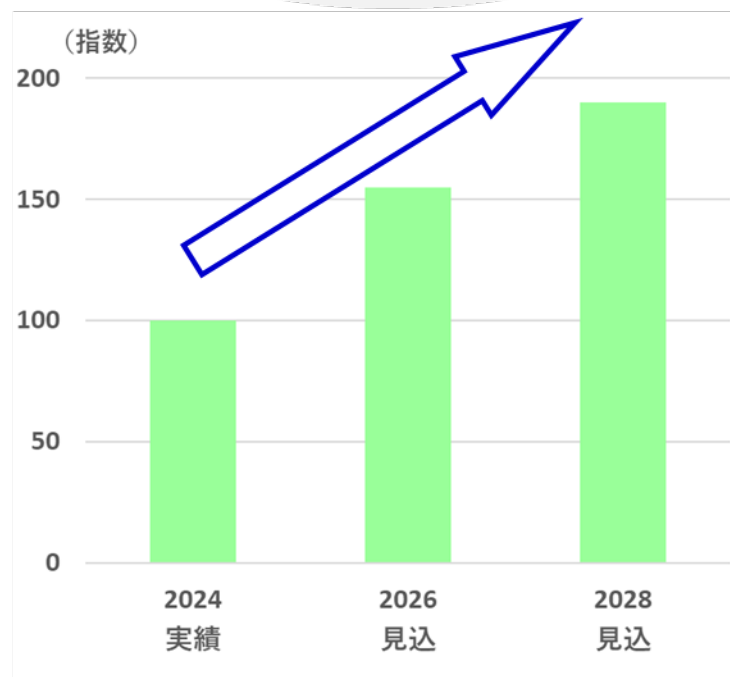
## 医療用途

売上高CAGR  
18%



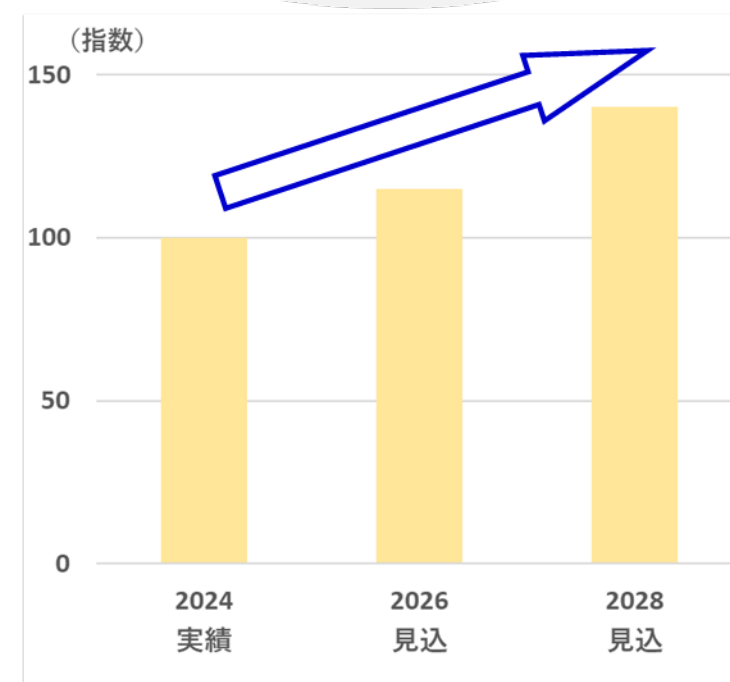
## 半導体用途

売上高CAGR  
17%



## 大型ディスプレイ用途

売上高CAGR  
9%



## 能力増強



### 当社の成長ドライバーである COP新工場の建設着工

医療用途、半導体用途、大型ディスプレイ用途を中心とした旺盛な需要に対応するため、山口県周南市に新工場を建設中です。

現在岡山県倉敷市の工場でCOPを生産しており、新工場完成後の生産能力は約30%強増える見通しです。

なお投資総額は780億円、2028年稼働開始を目指しています。

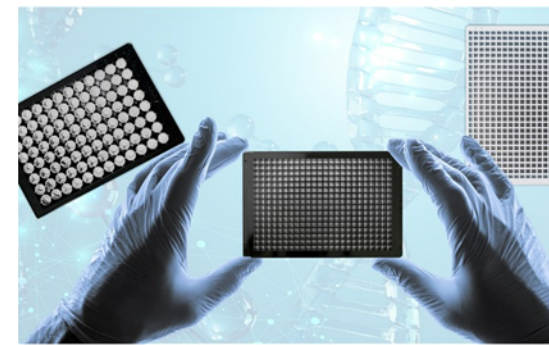


### 大型ディスプレイ向け光学フィルム 世界最大幅の新ライン建設着工

テレビの大画面化に伴い、光学フィルムの需要は順調に拡大しています。

当社は富山県氷見市、福井県敦賀市の2拠点で光学フィルムを生産しておりますが、将来の需要増に応えるため、氷見市にある工場内に世界最大幅となる3,000ミリ幅の新ラインを建設中です。2027年からの稼働開始を見込んでいます。

## 事業譲受



### マイクロ流路事業をウシオ電機株式会社 から譲り受け、医療・LS分野事業を拡大

当社が開発したCOPの精密成形技術と、ウシオ電機株式会社が開発した化学的溶出物のないクリーンなマイクロ流路チップ製造技術を融合し、創薬や診断分野における新たな事業機会を創出していきます。

# 4. 日本ゼオンの株価と株主還元

# 株価の動き(2024年10月~)



## 株主還元方針

■ DOE(株主資本配当率)4%以上

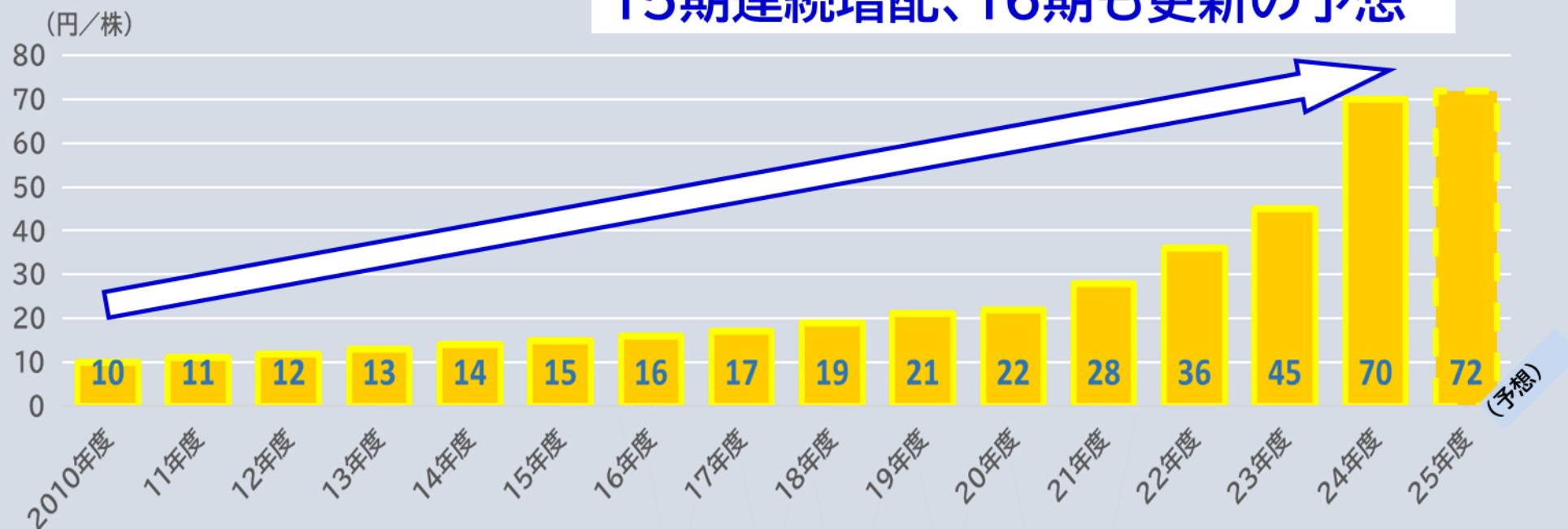
■ 自己株式取得計画

2025年度 100億円(実施済)

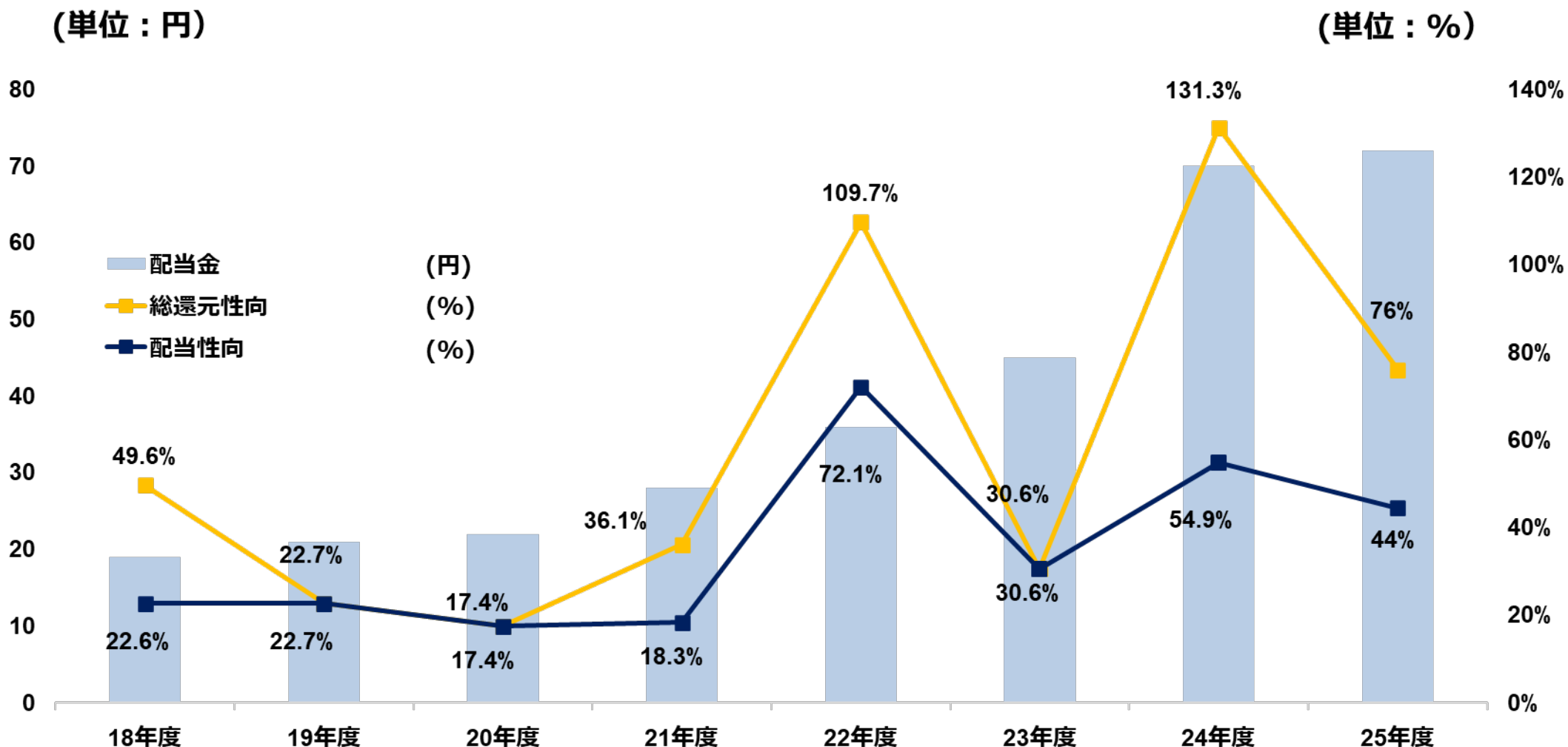
2026年度 100億円(見込)

## 年間配当の推移

15期連続増配、16期も更新の予想



# 配当性向および総還元性向、配当利回り



配当利回りは3.90%(2026年 3月25日終値ベース)

これからも

「安全・安心・快適な暮らしを支える素材」  
を提供していきます

ご清聴、ありがとうございました。